

令和8年度の取組み

(令和8年度実施計画から抜粋)

1 令和8年度 実施計画の概要

- ・「まちづくりの羅針盤」の各ビジョンに紐づく「重点政策パッケージ」の達成に直接的に寄与する事業を明確化。
- ・「まちづくりの羅針盤」には明示されてはいないものの、村の取組みを分野の「すき間」なく展開するために、各種分野別計画に基づく取組みのうち、重点的に推進するものを記載。

目次

令和8年度 実施計画



1. はじめに ～「まちづくりの羅針盤」とは～	3
2. 令和8年度実施計画の概要	4
3. 実施計画策定の経過	4
4. 令和8年度の行政運営について	5
(1) 行政運営の基本的な考え方	5
(2) 重点的に取り組む政策（「まちづくりの羅針盤」の4つのビジョン）	5
5. 令和8年度実施事業の体系と主要事業の概要等	6
(1) 体系	6
(2) 主要な取組みの概要	7
ビジョン1 （テーマ：「人口減少対策」）	8
ビジョン2 （テーマ：「新たな基盤整備」）	12
ビジョン3 （テーマ：「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」）	14
ビジョン4 （テーマ：「安全・安心の確保」）	16
重点政策パッケージと「両輪」で進める、各種分野別計画の重点的取組み	19
(3) 一人ひとりが安心して過ごせる村独自の生活者支援	22
(4) 主な休廃止予定事業	24
6. 大規模建設事業の計画的な実施	25

2 ビジョン1 (テーマ:「人口減少対策」)

こども・わかものが活躍する、住みよこちのよい・暮らしやすいまちの実現

ビジョン1の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取組み

【現 状】

- ・ビジョン1は「人口減少対策」をテーマとしています。本村の人口はおよそ37,800人であり、ここ10年間ほぼ横ばいで推移しています。
- ・ただし、自然増減は出生数が死亡数を上回る傾向にありましたが、近年はその差が小さくなり平成29年には減少（死亡数が出生数を上回る状況）に転じました。
- ・転入者・転出者の差も小さくなっており、概ね転入超過の状況ではあるものの、子育て支援策に加え、村への興味・愛着の高揚や、移住・定住への支援も促進する必要があります。

【取組み】

- ・こども・わかものの取組みを筆頭に、出産・子育て分野でも拡充を図り、移住・定住、起業・創業面も含めた多角的な取組みを実施します。

①	「こども・わかもの」のまちづくりの推進(拡充)		所管	地域戦略課
予算額	16,125千円	対応するVillage Action		1
概要	こども・わかものが「まちを知る・まちづくりに関わる・まちを好きになる・まちを語る」ことができるような関わりしを創り出すとともに、こども・わかものの率直な声を聴き、想いを受け止め、まちづくりに反映する仕組みづくりにも取り組む。 ●土台づくり・関わりしへの創設 わかもの会議、高校生まちづくりスクールの運営、フレンドシップ協定に基づく東海高校との連携、中学校との連携、まちづくりチャレンジ応援助成金の交付 ●推進の基盤づくり、拠点・居場所の在り方に関する方針とりまとめ、コーディネーター配置準備、大学生等ユースワーカー養成等			

②	こども・わかもの応援給付金の支給(拡充)		所管	学校教育課
予算額	277,750千円	対応するVillage Action		1
概要	近年、教育費に係る世帯負担が増加していることから、こども・わかものの学びや挑戦の機会を支援することを目的に、1人当たり6万円を支給。 ●支給対象者 令和8年5月1日から7月1日まで村に住民登録がある小学校就学から18歳までの年齢の方 ※支給対象者を拡充(子どものみ村外の住所でも支給対象とする。) (小学生:2,100人、中学生:1,250人、高校生等:1,250人)			

2 ビジョン1 (テーマ:「人口減少対策」)

こども・わかものが活躍する、住みよこちのよい・暮らしやすいまちの実現

ビジョン1の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取り組み

【現 状】

- ・ビジョン1は「人口減少対策」をテーマとしています。本村の人口はおよそ 37,800 人であり、ここ 10 年間ほぼ横ばいで推移しています。
- ・ただし、自然増減は出生数が死亡数を上回る傾向にありましたが、近年はその差が小さくなり平成 29 年には減少（死亡数が出生数を上回る状況）に転じました。
- ・転入者・転出者の差も小さくなっており、概ね転入超過の状況ではあるものの、子育て支援策に加え、村への興味・愛着の高揚や、移住・定住への支援も促進する必要があります。

【取組み】

- ・こども・わかものの取組みを筆頭に、出産・子育て分野でも拡充を図り、移住・定住、起業・創業面も含めた多角的な取組みを実施します。

③	とうかい版ネウボラの拡大(オンライン助産師相談) (拡充)		所管	健康増進課
予算額	2,454千円	対応するVillage Action		1
概要	ウェアラブルデバイスを用いて、医学的根拠を基に妊婦個々に合わせた生活のアドバイスを実施し、妊娠合併症のリスク低減を目指す。 また、LINE 相談やオンライン面談も可能となることから、妊娠中から産後 3 か月頃までの支援を強化し、妊産婦一人ひとりが安心して出産を迎え育児ができるような体制を構築。 ●24 時間 365 日利用できる LINE 相談窓口の設置、オンライン面談 ●保健センターとの情報連携と、父親も含めた産後ケアサポートの実施			

④	若い世代の移住・定住促進(継続)		所管	地域戦略課
予算額	13,097千円	対応するVillage Action		3
概要	関係人口の増加やふるさと意識を醸成し、若い世代の転入やUJターンを促進する取組みを展開。 ●新婚世帯に対する引っ越し・住環境整備に関する補助金の交付(とうかい住まいる応援補助金) ●若い世代の同窓会開催への補助(いいムラをつくろう同窓会開催支援補助金) (とうかい住まいる応援補助金:200,000 円×60 件) (いいムラをつくろう同窓会開催支援補助金:100,000 円×10 件) 令和7～8年度は、幅広く交流を促進する観点から、年齢上限を撤廃			

2 ビジョン2（テーマ:「新たな基盤整備」）

新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備

ビジョン2の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取り組み

【現 状】

- ・ビジョン2は「新たな基盤整備」をテーマとしています。国道245号は久慈大橋区間を除き4車線化が終了し、国道6号においても、4車線化工事が開始されています。
- ・主に東海駅周辺や区画整理地内では、住宅や商業施設が建設されていますが、インフラ整備にあわせて、周辺部の活性化も図る必要があります。
- ・その他、地域の拠点として活用されるコミュニティセンターの整備や、村民の「足」としてニーズが高い交通インフラについても、利用者目線で更なる利便性向上が求められています。

【取組み】

- ・石神地区の活性化に向けて、新たに基礎調査に取り掛かるとともに、東海スマートIC大型車対応化に向け、より具体的な検討や関係機関との協議を進めます。デマンド交通は、キャッシュレス対応等を図ります。

①	石神地区活性化の推進(新規)		所管	都市政策課
予算額	42,967千円	対応するVillage Action		1
概要	現在整備が進む国道6号東海拡幅を契機に、東海スマート IC の大型車対応化をはじめ、幹線道路沿道を中心とした土地利用の規制緩和など、石神地区の面的な整備につなげるための調査・検討を実施。 ●国道6号沿いを中心とした石神地区の面的整備基礎調査 現況と課題の整理、先進事例の調査、エリア・実現方策の検討、パース図作成等 ●東海スマート IC 大型車対応化に向けた協議 関係機関との協議支援、アクセス道路等の設計、必要資料の作成等			

②	デマンド交通への新たなシステム導入(拡充)		所管	産業政策課
予算額	2,849千円	対応するVillage Action		4
概要	令和7年1月から導入した AI 配車システムの運用を引き続き行い、デマンドタクシーの安定したサービス水準を保ちつつ、更なる利便性向上を図る。 ●AI 配車システムオプション(車両再配置機能)の導入 ●キャッシュレス決済システムの導入 カテゴリー「移動・交通」			

2 ビジョン3（テーマ:「DXの推進」）

誰もがデジタル技術を活用し利便性を享受できるDXの推進

ビジョン3の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取り組み

【現 状】

- ・ビジョン3は「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」をテーマとしています。
- ・コロナ禍や「とうかい“まるごと”デジタル化構想」も相まって、多分野で「デジタル化」が進められています。
- ・近年は「電子図書館」や「都市計画図」等、従前はペーパーベースが当然であった分野においても、電子化によりそのメリットが発揮されています。

【取り組み】

- ・窓口・オフィス改革については、庁舎の顔ともいべき行政棟1階の再整備を行います。来庁者の不便を極力軽減し、より丁寧に対応していくため、全体の整備スケジュールを2年から3年に延長します。あわせて、行政サービスのデジタル化については、既存システムの機能向上を図り、デジタルツールを拡大することで、窓口・対面での価値をより高めていきます。

①	庁舎窓口・執務エリアの再整備(継続)		所管	デジタル改革推進課
予算額	42,967千円	対応するVillage Action	3	
概要	庁舎の利便性向上を図るため、庁舎(窓口・執務エリア)のリニューアルを実施。 (令和7～8年度の整備を予定から、窓口エリアの再整備をより丁寧に行うため、令和7～9年度の3か年で実施) ●オフィス改革の継続的な実施 ●窓口改革の実施 (総合窓口システム導入委託料:2,530,000 円, 総合窓口システム機器導入委託料:1,653,000 円) (窓口発券機:11,482,000円)			

①	行政サービスのデジタル化(継続)		所管	デジタル改革推進課ほか
予算額	各課予算	対応するVillage Action	2	
概要	●村 HP へ自動問合せ機能を装備(AI チャットボット) ●新公共施設予約システムの導入(オンライン予約) ●窓口での来客受付のデジタル化 ●村公式 LINE の利便性向上, デジタル広報紙アプリの導入 ●令和7年度に整備した都市計画情報 GIS の利活用に向けた新規レイヤー作成及び機能改善を図るほか、新たに三次元の3D都市モデルを構築			

2 ビジョン4（テーマ:「安全・安心の確保」）

多様性を基本とする防災対策と心身ともに安心して過ごせるセーフティネットの構築 ビジョン4の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取組み

- 【現 状】
- ・ビジョン4は「安全・安心の確保」をテーマとしています。
 - ・近年では、国内外を問わず大規模災害が激甚化・頻発化しており、有事の際に備えてソフト、ハードの両面から事前の対策が求められています。
 - ・また、災害そのものの変化と同時に、避難や避難所運営等においても、より個々の事情に配慮した対応が必要となっています。
- 【取組み】
- ・大雨・ゲリラ豪雨への対策は、大規模工事、小規模ではあるものの即効性の高い取組みをセットで実施していきます。また、特に夏場における「停電」は生活への影響が大きいことから、コミュニティセンターの機能強化面から新たな取組みを始めます。ソフト面では避難行動要支援者だけにターゲットを絞るのではなく、「避難支援等関係者」に対しても負担軽減を図ります。

①	雨水浸水被害対策の推進(継続/新規)		所管	建設部
予算額	377,816千円		対応するVillage Action	1
概要	台風やゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、村内各所において対策工事等を実施。 ●村道 1402 号線雨水排水対策測量設計業務【新規】 ●1号根崎緑地調整池工事 ●浸水センサ設置工事:10 基 ●絆北側2号調整池の計画的整備(第3期工事) ●東部幹線6号バイパスの整備			

②	防災拠点施設の整備促進(非常用発電機設置) (新規)		所管	村民活動支援課
予算額	5,500千円		対応するVillage Action	1
概要	基幹避難所となっているコミュニティセンターの災害対策機能を高めるため、停電対応などの必要なハード整備として、非常用発電機の設置を進める。 ●非常用発電機設置工事に係る実施設計(3施設) (スケジュール) 令和8年度…実施設計①(3施設) 令和9年度…設置工事①(3施設)/実施設計②(3施設) 令和 10 年度…設置工事②(3施設) ※令和7年度に基本設計実施済。令和9年度以降は変更する場合あり。			

2 ビジョン4（テーマ:「安全・安心の確保」）

多様性を基本とする防災対策と心身ともに安心して過ごせるセーフティネットの構築 ビジョン4の実現に向けた「重点政策パッケージ」の主な取組み

【現 状】

- ・ビジョン4は「安全・安心の確保」をテーマとしています。
- ・近年では、国内外を問わず大規模災害が激甚化・頻発化しており、有事の際に備えてソフト、ハードの両面から事前の対策が求められています。
- ・また、災害そのものの変化と同時に、避難や避難所運営等においても、より個々の事情に配慮した対応が必要となっています。

【取組み】

- ・大雨・ゲリラ豪雨への対策は、大規模工事、小規模ではあるものの即効性の高い取組みをセットで実施していきます。また、特に夏場における「停電」は生活への影響が大きいことから、コミュニティセンターの機能強化面から新たな取組みを始めます。ソフト面では避難行動要支援者だけにターゲットを絞るのではなく、「避難支援等関係者」に対しても負担軽減を図ります。

③	防災無線放送施設の更新(継続)		所管	防災原子力安全課
予算額	210,139千円	対応するVillage Action		2
概要	防災行政無線放送設備工事を実施(令和8年度は更新工事の1年目)。 (スケジュール) 令和8～9年度...更新工事 令和 10 年度...運用開始 ※令和9年度以降は変更する場合あり。			

④	避難行動要支援者の避難支援等関係者への支援体制整備(新規)		所管	地域福祉課
予算額	270千円	対応するVillage Action		1
概要	避難行動要支援者の避難支援を行う安心サポーターが自家用車で避難支援を行う際の自動車保険料を村が負担します。 ●保険プラン 1台につき 450 円 ●保険対象車両数(想定) 600 台 (安心サポーター1人につき2～3台車を所有と想定)			